

## 福井ふるさと学びの森あわらエリア第2弾 「初夏の山野草を観察しよう！」

- 1 日時：平成27年6月13日（土） 10:00～11:30
- 2 場所：福井ふるさと学びの森あわらエリア 北潟国有林
- 3 参加者：一般県民30名（うち小学生7名）
- 4 指導者：里山里海湖研究所 ふるさと研究員 河田 勝治さん  
(あわらの自然を愛する会)
- 5 内容：

福井県の北部、石川県との県境に広がる北潟国有林は潮害防備保安林として、人々の暮らしを守り、また、地域の人々によって守られてきた森です。そこには、多様な山野草をはじめとした多様な景観を見ることができます。

初夏に花開く可憐な山野草について、ふるさと研究員の河田さんから説明を聞きながら、楽しく森の中を散策しました。



はじめに、あわらの自然を愛する会の河田会長から北潟国有林の広さや特色、歴史について紹介がありました。



今年は例年よりも早く開花する山野草が多いということで、ササユリの時期は済んでいましたが、かわりにオカトラノオがきれいに咲き誇っていました。

暑い一日でしたが、里山の自然に触れて、参加者のみなさんも満足しているようでした。

### 《参加者の声》

- ・里山の中にはいろいろな植物が自生していることを知ることができた。
- ・初めて聞く話が多く、意外性がありおもしろかった。
- ・歩きやすい森なので、子どもも安全に参加できてよかった。
- ・いろいろな草花を知り、昔の人の知恵を知り、山のすばらしさを感じました。
- ・草花や生きものには自然の環境が保たれることが必要と実感した。